

1. 開催する背景と目的

千葉市は令和3年に市制100周年を迎えたことに伴い、市の価値等をいかに未来へ継承し発展させていくかを考え行動する機会となるような取り組みを進めている。

このような背景のもと、文化プログラムである千の葉の芸術祭を通して本市の魅力ある文化力を広く発信することで、市民に改めて市の魅力を再認識してもらうとともに、文化芸術活動を日常的な取組へと広げることで市の文化の発展に寄与することを目的に、本芸術祭を開催することとした。

|                |  |
|----------------|--|
| 開催目的<br>(レガシー) | 市制100周年を迎えたことを契機に、本市の「自然や歴史に根差した固有の文化力」と「技術の進展によって生まれた新しい文化力」を市民が再認識できる。 |
|                | 「文化芸術の間口を広く、敷居を無くし、日常的な活動へと広げる取組」の機会を創出する。                               |

2. 主催

千の葉の芸術祭実行委員会

(構成団体：千葉市、公益財団法人 千葉市文化振興財団、公益財団法人 千葉市教育振興財団、公益社団法人 千葉市観光協会、千葉市文化連盟、千葉市メディア芸術振興事業実行委員会)

また、実行委員会が総合ディレクター、ディレクター、アートディレクターを選任し、全体のディレクションや専門分野のディレクション等をお願いしている

千の葉の芸術祭 実行委員会

選任

|               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 総合ディレクター      | 千葉大学 教育学部 芸術学研究室 准教授 神野真吾 |
| ディレクター        | 日本写真史研究家 栗生田 弓            |
| アート<br>ディレクター | グラフィックデザイナー おおうち おさむ      |

### 3. 芸術祭概要

令和3年7月24日（土）から9月12日（日）までを「千の葉の芸術祭イベント期間」とする。

|   |   |
|---|---|
| 写真芸術展<br>「CHIBA FOTO」                   | 12名の作家が制作した、撮り下ろしの作品やこの土地の歴史・場所の持つ記憶をリサーチした作品、そして、市民に「いま」見て欲しい作品を市内各所に点在する歴史ある建造物や、日々行き交う場所に展示する。<br>会期：令和3年8月21日（土）～9月12日（日）<br>休館日・開催時間は会場により異なる。<br>会場：千葉市美術館、旧神谷伝兵衛別荘 など<br>料金：無料   |
| 体験・創造<br>ワークショップ<br>「ななめな学校」            | 本市で実施してきた体験・創造ワークショップ「ななめな学校」を小学生のみならず大人も対象に開催する。<br>会期：令和3年4月16日（金）～4月30日（金）募集期間<br>令和3年6月～8月：講座開催（4講座×5回）<br>令和3年8月～9月：成果発表<br>会場：千葉市生涯学習センター など<br>料金：講座参加費徴収、成果発表会無料  |
| 伝統文化と新しい<br>文化の発信<br>「生態系へのジャック<br>イン展」 | ①伝統文化の発信<br>千葉市文化連盟による伝統文化の体験・鑑賞会を開催する。<br>会期：令和3年8月6日（金）・8月7日（土）<br>午前・午後各1回<br>会場：県立幕張海浜公園「見浜園」<br>料金：無料（事前申込制）<br><br>②新しい文化の発信<br>光を使ったインスタレーションや回遊式のエキシビションを展開する。<br>会期：令和3年7月24日（土）～8月8日（日）（8月2日（月）休演）<br>18時00分～21時00分（最終入場20時30分）<br>会場：県立幕張海浜公園「見浜園」<br>料金：無料（事前予約制） |

### 4. 広報について

公式WEBやSNSの活用、写真芸術展ガイドマップの配布などを実施する。

また、千の葉の芸術祭ロゴをデザインラッピングした京成連節バスや千葉モノレール車両を運行。

### 5. 輸送交通について

公式WEBや写真芸術展ガイドブックなどで適切な情報発信を図る。